

コロナ対策、前法相夫妻逮捕、閉会中審議を 総選挙勝利めざし街頭国会報告 もとむら、島津両氏ら

もとむら伸子衆院議員と島津幸広前衆院議員(比例候補)は20日、名古屋駅前で、通常国会閉会後初の街頭宣伝に立ちました。すやま初美愛知県副委員長、江上博之名古屋市議も訴えました。

もとむら議員は「野党共同で国会延長を求めたが安倍政権は応じなかった。コロナ対策をしつかり



議論すべき」、選挙の買収で逮捕された河井前法相夫妻について、「安倍首相側近で首相の任命責任が問われる。閉会中も国会審議で追及する」と述べました。また、衆院憲法審査会委員として自民党案の提案を阻止した奮闘を紹介し、「衆院選挙の可能性ありと言われるなか、今度こそ東海ブロックで2議席以上の党議席を勝ち取って政治を変えよう」と呼びかけました。

と転換しよう」と訴えました。すやま氏はコロナで寄せられた相談をもとに行政へ何度も要請し、県の休業協力金の条件緩和や文化団体への給付を実現したと訴えました。

宣伝は中区や中村区の党员、後援会員も聞き入り、通行する若者を中心に多くの声援がありました。ある男性(42)は「政治へのもやもやがすっきり晴れたようだ。みんなが困っている。自粛と補償はセットで早く政治が動いてほしい」と話していました。

リニア新幹線静岡工区 議事の公開を たけだ氏

たけだ良介参院議員は22日の参院決算委員会、リニア中央新幹線静岡工区工事に伴う大井川の流量減少問題を議論する国土交通省の有識者会議について、静岡県が求める会議の公開を行うよう求めました。

江口秀二審議官は、委員への匿名者の非難中傷の恐れから、「忌憚(きたん)のない自由な発言を阻害する要因になりえる」などと答えました。たけだ氏がさらに追及するとしどろもどろになりました。

同省は、同会議の報道関係者以外の一般傍聴を認めていません。静岡県は事前協議で合意した全面公開の約束に反するとして、公開を求めています。

たけだ氏が一般傍聴を認めない理由を質すと、同省の



また、たけだ氏は会議の委員を依頼する際に、静岡県の公開の要求を説明したかを質問。江口審議官は「報道関係者の傍聴可と説明した」と答弁。たけだ氏は、「静岡県知事は『住民の不安を払拭(ふっしょく)し、国民に水資源保全の重要性を理解してもらうためには、議論の過程をすべて公開する必要はある』と発言している」として、今後の公開を求めました。

イーシア計画撤回を 参院決算委 井上議員



井上哲士参院議員は、22日の参院決算委員会で、防衛省が、推進ブースターが演習場内に確実に落下できないとして、導入を断念した陸上配備型迎撃ミサイルシステム・イーシア計画について質問しました。

井上氏は、19年5月の住民説明会資料に「ブースターの落下位置を予(あらかじめ)め計算することができず」との記載があることについて質

しました。河野太郎防衛大臣は、「わが方としてそういう認識に至った」と答弁し、米側の明確な保証がないまま説明していたことが浮き彫りになりました。

井上氏は、ルーマニアにある米軍のイーシア基地司令官が、ブースターの落下位置の制御について「100%想定範囲内

に収まるとは言えない。最も確実な安全策は、基地の周りに住宅をつくらないことだ」と述べていることを紹介し、「ブースター落下の危険性を考慮しないまま、住宅地周辺に設置計画を決めて、安全かのように説明してきた責任は極めて重い」と、計画撤回を求めました。